

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	広域営農団地農道整備事業	都道府県名	北海道	地区名	日高中部4期
-----	--------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		16,848,808千円	
年 効 用		851,112千円	
廃 用 損 失 額		37,255千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		51年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0474	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	17,918,694千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6,689	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草等
	品質向上効果	4,064	舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：トマト等
営農経費の節減	維持管理費節減効果	695	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	752,327	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳、牧草等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	27,661	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	59,676	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減
計		851,112	